

国立情報学研究所

「大学等におけるオンライン教育とデジタル変革に関する
サイバーシンポジウム」

2021年3月26日(金) ; オンライン

社会人履修生からの視点:樋口 健一

大学履修の始まり（定年後仕事続投）

- ▶ 九州工業大学「情報教育支援士養成講座」履修生～来年度まで履修
Moodle利用
飯塚キャンパスと天神サテライトとの遠隔講義
令和2年度はオンライン受講のみ Webex meeting等
- ▶ 北九州市立大学 i-design「こころの科学」履修生 Moodle利用
「バーチャルi-designCC」（コロナ禍での大学先生等の動画配信）
「アイ・カフェ」（リアルから始まり、今は履修生によるZOOMミーティング）
- ▶ enPIT-everi履修生「オンラインフューチャーセッション」
幹事大学；北九州市立大学
Zoom, Chatwork、Googleスプレッドシート

大学等履修の始まりⅡ

- ▶ 東京外国語大学「オープンアカデミー」履修（令和3年度までオンライン予定）
ZOOMとGoogle classroom利用 語学、教養講座等
- ▶ お茶の水女子大学「各種オンライン公開講座」受講ZOOM
- ▶ 民間IT企業のFacebook等での広報によるオンライン講座
ZOOM、Webex meeting等
- ▶ 自閉症グループオンライン参加 Skype
- ▶ 心理学系、情報学系の各種学会・研究会の非会員オンライン参加
ZOOM、Vimeo等
- ▶ 国立情報学研究所オンライン ZOOM、LINEライブ、YouTubeライブ、
Webex meeting、YouTube登録

チャット名人目指して

※これから学生の独り言目線ですので、悪しからず！

- ▶ 今や、ビジネスの世界も、テレワーク普及もあって、メールとチャット併用の時代
- ▶ チャットはある意味、上下関係のバリアフリー化を進める？
- ▶ 講演者の壁打ち感を無くせ！
- ▶ コンサートのブラボー、歌舞伎の大向こうのタイミングと同じ！
- ▶ 講演者の邪魔はしないのが鉄則！！
- ▶ 相手を特定して裏会話m(__)m
- ▶ 参加メンバーのアイスブレイクを目指せ！

Moodleなどの活用

- ▶ 今や、ビジネスの世界でも、テレワーク推進により、ログイン・閲覧履歴等により、勤怠管理システムを導入する時代
- ▶ アラーム機能が付いた勤怠管理システムもある！
- ▶ Moodleは言わば、学生の勤怠管理システムとなれる？！
- ▶ ならば、学生も先生方への自己アピールの場としたい！
- ▶ いや、すべき！！
- ▶ そして、結果、ログイン履歴が学生自身の学習履歴であり、汗と涙の履歴である！
- ▶ 同じ学ぶなら、先生方に喜んで頂こう('▽')

オンラインと語学のストレス(カクテルパーティー効果が使えない?)

- ▶ Zoomなどのオンラインツールで語学を学ぶと、ミュート解除した学生全員のリピート音声は各自聞こえて来るので、先生の声が被ってしまう?!
- ▶ リアル講義だと、いわゆる心理学で言う「カクテルパーティー効果」により、学生は先生の声だけのある程度フォーカスして聞くことができる!
- ▶ オンラインだと(´;ω;`)
- ▶ それを改善する手法が必要

オンラインの効用

- ▶ リアルだと恥ずかしさから、面と向かって正面から相手の顔を見られないが、オンラインだと相手の視線があまり気にならない！
- ▶ ブレイクアウトルームの活用「図らずも集う新たな井戸端会議」
- ▶ 聴覚障害者でも、発信者の画像と自身の映像の融合等の工夫可能。これからはAI音声文字化利用も可能か？
- ▶ 発達障害者などは、アバター等の利用で、バーチャル参加が可能か？
- ▶ 空間、時間の節約
- ▶ 場合によっては体調不良でも布団の中で（先生には内緒です！ M(__)m)

マナパス活用法

ドラえもんどこでもドア

▶ <https://manapass.jp/>



オンラインネイティブ、そして、「**ハイブリッド、ボーダレスな未来**」

- ▶ オンラインは、空間、時間、年齢、国籍、居住地、性別、人種、言葉の壁を越えられる！
- ▶ 現に私も女子大に(´▽`)
- ▶ AI翻訳により、将来的にはストレスフリーで海外との交流が可能か？
- ▶ 海外との敢えての時間差を利用したサービスも可能・・・社会人の夜間学習に地球の裏
- ▶ 季節の違いを利用した南半球との交流
- ▶ バーチャル・トビタテ
- ▶ リアルが、今までより、より貴重な時間・空間の共有場所に！！

ご清聴ありがとうございました。

Thank you very much for
your attention!

See you next?!